

写真と映像で伝える イラクのヤズディ教徒

ISによる迫害と現状

講演者 玉本 英子 氏 (アジアプレス・インターナショナル)

日時 2019年5月18日(土) 11:00~13:00

会場 立命館大学 衣笠キャンパス 創思館 カンファレンスルーム



IS襲撃以前のヤズディ教徒の女性。聖塔の前で（イラク・バシカ）

イラクとシリアにまたがる地域などを4年以上にわたり支配した過激派組織IS。ISに最も迫害を受けたのが、イラク北西部にいた少数宗教のヤズディ教徒だった。昨年ナディア・ムラドさんがノーベル平和賞を受賞し、日本でも知られるようになったが、2014年の襲撃で、イスラム教への改宗を拒否した男性たちは殺害され、女性性は性奴隷にされた。ヤズディ教徒に何が起きたのか、現在の状況とともに、「加害者」であるIS元戦闘員や、ヤズディ教徒を命がけで助けたイスラム教徒家族らも取材。イラク北部地域やヤズディ教徒を長年取材してきたアジアプレスの玉本英子が、取材映像と写真を通して分りやすく伝える。

玉本英子（たまもと・えいこ）

アジアプレス 大阪オフィス所属。中東地域を中心に20年以上取材。テレビのニュース特集や、共著本多数、主な映像作品にアフガニスタンの女性を題材にした映画「ザルミーナ・公開処刑 されたアフガニスタン女性」監督(2004)。2017年「第54回ギャラクシー賞」報道活動部門の優秀賞受賞。2019年坂田記念ジャーナリスト賞特別賞受賞。毎日新聞の大阪版・京都版に「漆黒を照らす」連載中。



ISに迫害を受けた少数宗教ヤズディの小学生たちと（イラク・クルド自治区・シャリア）

主催／科学研究費補助金・新学術領域研究（研究領域提案型）「グローバル関係学」計画研究B02「越境的非国家ネットワーク：国家破綻と紛争」（研究代表者：末近浩太）
共催／立命館大学国際地域研究所
問合せ先／17v00017 @ gst.ritsumei.ac.jp（二宮）

